

志木市議会議員 無所属

天田いづみの議会だより

市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108

Tel/Fax:048-471-1338

E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/> 第45号 2012年3月

市民病院のめざす方向性について

市民病院小児科の2012年度中の入院休止は当面回避される方向性となり、夜間小児救急も維持される見通しです。

天田いづみは、従来より近隣自治体との広域的な連携の中で地域医療を守っていくことを働きかけてきました。

長沼市長就任(2005年)以降、志木市は近隣自治体や県に対して財政的な支援や県への医師派遣の要請等を続けてきましたが、結果的に志木市は市民が支える形で市民病院を維持してきました。(本年1月19日には5市1町が財政支援を表明しつつ市民病院の夜間小児救急継続を志木市長に要望)

志木市の高齢化率は現在20%(館地区は25%)ですが、21%以上で超高齢化社会に突入します。

市民病院は昨年6月から訪問看護ステーションにおいて365日24時間体制で訪問看護を行っています。医師も訪問看護ステーションと一体となって在宅患者の訪問診療を行っています。

今後急速に進む志木市の高齢化の中で、在宅療養・介護を支え、ターミナルケア(終末期医療・看護)、在宅での緩和ケア、看取り等を行い、いざという時は入院できる医療機関が身近にあることは患者・家族のために必要です。今も不安やご不自由

を抱えながら通院・療養されている方々の、安心に向けた願いではないでしょうか。

一方で、市立病院として、市民への財政的な負担軽減は大変重要です。

市民病院として、財政負担を最小限に抑えつつ、子どもからお年寄りまでの地域包括ケア(医療・介護等の切れ目のない一体的なサービス提供)を担っていかれるのか。

市民病院改革委員会報告書(2月24日)では、小児救急医療への財政支援に対する県や近隣市との協議の必要性、小児科医師派遣のための大学病院等への要請に加え、指定管理者制度等により市の負担を最低限に抑えながら、高齢者への在宅医療など、地域の医療ニーズを考えた運営を考えると等の意見が出されています。

市は今後、議会の意見も踏まえつつ、志木市としてどのような選択がよいのか検討していくとしています。

財政負担を抑えつつ、子どもからお年寄りまでの地域医療を支えるための改革に、失敗は許されません。志木市として、公開性透明性のある適正な手続きで改革を進めていくことが重要です。

市民意識調査(2010年)によれば市が重点的に取り組むべき施策の1位は「医療施策」でした。

地域の医療機関と連携し、患者・市民に選ばれる、良質な医療・看護・介護サービスの提供に向け、しっかりと提言を続けていきます。

2011年12月議会 一般質問より

■ 学童保育の取り組みについて

2011年4月から宗岡地区4か所の学童保育クラブが志木市社会福祉協議会に、10月から志木地区4か所の学童保育クラブが社会福祉法人タイケン福祉会に委託されました。

委託は手段であり、目的であってはならないと考えます。志木市として、より良い保育、発達段階に応じた子育て支援を児童福祉の立場から行っていくとの考えで実施に踏み切ったと私は捉えています。私自身、保護者の方々と話し合う中で、保護者の就労形態に応じた保育時間の延長を働きかけてきた経緯もあり、委託後の保育内容を見極めたいと考え、志木地区・宗岡地区それぞれの統括指導員から話を伺い、調査を行いました。

従来はすべて市の臨時職員でしたが、施設長を含む常勤職員2名にパート職員と、責任体制も明確化されました。

保護者へのアンケート調査により、休日の保育開始時間をパート労働の保護者にも配慮して8時30分から8時としたことも、民間ならではの対応です。

社会福祉協議会では、自立支援法に基づく多機能型事業所オリジナルの手づくりおやつを提供しています。市の作業所では一律に作業をしていた障がい者が、就労継続支援(正規就労に至るまでの準備段階としての就労)として、時給800円の賃金を得て、総合福祉センターの食堂ひまわり、学童保育のおやつづくり等を行っています。民間の多様な事業展開が活かされていると感じます。

また、社協が運営する宗岡第二公民館の読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、宗岡子育て支援センターとの共催で、子どもたちが来る前の時間帯に乳幼児とお母さんたちのための「青空ぼけっと in 学童」(公共施設の無い下宗岡地区のために宗岡第3学童を活用)、さくらんぼサークルと料理実習など、地域福祉を担う社協の特性を生かした、地域づくりの取り組みと感じます。

さらに、志木市の総合防災訓練に4学童すべてが参加、志木市観光協会主催「民謡流し」にも子どもたちが参加し、各学童保育クラブで地域の婦人会から踊りの指導を受けることで、子どもたちと顔なじみになり、地域で見守り、声をかけていただけるとのこと。

また、「あのね箱」をつくり、子どもたちが困っていることを書いて入れるなど、児童虐待の予防にも努めています。

志木市主催の児童虐待防止の研修会には、学校関係者や民間の認可保育園、幼稚園等も参加、学童保育クラブからも全学童から指導員計20人もの参加が見られました。

社会福祉法人タイケン福祉会では、保護者参加型の行事について積極的に意見・要望を問いかけ、「市では無かったこと、ありがたい」との意見も寄せられているそうです。一方的な事業展開ではなく、できることは取り入れていくことで、保護者も「お任せ」ではなく、できる限りの責任を果たし、協働で子育てをしていく意義ある取り組みだと感じます。

タイケン学園として専門学校を持っている特性を生かし、学生の実習、あるいはアルバイトとして、スポーツや動物との触れ合いなど、専門性を活かしながら、子ども達にバリエーションに富んだ保育が展開されていると感じました。

タイケン福祉会では板橋区の徳丸小学校で、同一施設の1階で全児童放課後対策事業、2階で学童保育を運営しているとのこと。

志木市は民間の認可保育園を拡大しているため、これまで以上に学童保育や保護者の多様な就労形態に応じた対応も求められるでしょう。民間の様々な活動実績を参考にしながら、志木市独自の児童福祉政策を構築していくには、丸投げにせず、一緒になって志木市の保育行政を進めていくことが望まれます。

中村健康福祉部長からは、「閉所時間についても午後6時から7時に延長するとともに、土曜日・学校休校日については午前8時30分から8時に開所

時間を早めるなど、保護者のニーズにも柔軟に対応することが可能となった。

志木・宗岡地区それぞれに経験豊富な統括指導員を配置し、各クラブ間の連携を密にするとともに、志木市要保護児童対策地域協議会にも参加し、学校や保育園等とも連携しながら情報の共有を図り、児童の虐待防止にも配慮している。

児童の放課後等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図っていきたい。」との答弁がありました。

学童保育については県内で約半数が指定管理者ということですが、発達段階に応じた子育て支援、児童福祉という趣旨を踏まえれば、業務委託という志木市の選択は正しかったと考えます。

将来を担う子供たちの健全育成、発達段階に応じた適切な子育て支援の重要性、発達障がい等の出現率は6%程度あること等を踏まえ、市としっかりと連携が図れる、今の委託という形を大切にしながら、展開していくことを求めました。



■ 健康づくりの課題と展開について

志木市では、健康増進センターで一般的な市民の健康相談・健康づくりの施策を行い、特定健診・がん検診については健康づくり支援課、医療機関として市民病院等が担い、特定保健指導については総合健診センターに委託しています。

数年前までは主に保健センターによる活動でしたが、健康づくりを総合的に実施していかれる体制は格段に整い、保健師・管理栄養士も増加しています。それらの社会資源をどう活かしていくかが重要と考えます。

尼崎市では、生活習慣病予防対策の効果として、新たな人工透析の導入者が減ってきたということです。

健康診断の結果を尼崎市健康診断結果構造図(チャート表)として図式化し、受診者に見せながら保健師がわかりやすく説明し、意識を持っていただくことを市として工夫し、取り組んだ結果とのこと。

1人透析に至れば600万円程度、30人いれば年間1億円の医療費がかかってしまうことに着目し、腎疾患の予防につながるデータを分析し、効果をあげているそうです。

リスクに応じた保健指導で、服薬中の人は継続的に医療機関で受診しているため特定保健指導の対象にならないが、主治医の依頼、了解のもとに、保健指導を行うこともできるのです。

私も夫と共に、市民病院健診センターでの健康相談を受けてみましたが、管理栄養士から健診のデータをもとに生活習慣を聞き取りながら留意点をわかりやすくアドバイスいただき、家族間では難しいことも、改善につながりました。

市民病院では主治医が積極的に健診センターでの保健指導につなげていくことが必要ではないか。市として健康づくりの課題をしっかりと分析し、事業展開につなげてほしいと考えます。

中村健康福祉部長からは、「特定健診・特定保健指導については2012年度末の実施率で最終評価が行われる。目標値は特定健診65%、特定保健指導45%であり、2010年度の受診率は特定健診34.9%、特定保健指導18.4%と、いずれも県内40市の平均値を上回っているものの、目標値には達していない。

特定健診では40歳～50歳代の働き盛りの男性の受診率が10%台に低迷しており、特定保健指導の実施率は下宗岡地区が9.7%で市内平均値の半数に留まっている。

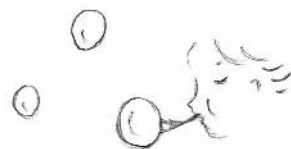
未受診者に理由を調査した結果、健診の必要性を感じている人、健康を過信している人、健診の結果が不安な人の3つのタイプに分かれることが判明した。

これらの分析結果をもとに、最終年度の目標値に少しでも到達すべく努力していく。」との答弁がありました。

市民病院・健診センターについては、地域に出いき市民に直接働きかける取り組みを求めました。

● 天田いづみの活動日誌(主なもの)

- 2011年8月2日 市議会5区議長会研修会「大地震そのときどうする」防災・危機管理アドバイザー 山村武彦さん
 6日 医療セミナー「病気の予防と健康づくり」市民病院総合健診センター・センター長 宇野正恆さん
 アフターファイブ定例会(21しき市民会議5期)
 7日 新河岸川・外来植物駆除作戦(NPO法人エコシティ志木)
 16日 社会福祉協議会 長谷川裕司さんより地域防災の取り組みについて伺う
 教育サポートセンター前田所長より研修、特別支援教育について伺う
 17日 志木小 星場校長より研究委嘱について伺う
 19日 宗岡二小訪問 久保校長より教育課題について伺う
 27日 市民総合防災訓練
 28日 第25回“チャリティーいろは市”(いろは商店会)
 30日 高齢者保健福祉計画審議会・介護保険事業計画策定委員会傍聴
 31日~9月27日 議会定例会
 9月11日 ぺあもーる&たてのよこいとコラボフェスタ 辻銀杏で街あわせ
 17日 医療セミナー「今後の在宅医療 志木市における展望」医療法人社団エトワール会 たんぼぼクリ
 ニック院長 井上俊之さん
 19日 敬老会
 25日 「どう考える? 埼玉の子育て」チェルノブイリ子ども基金顧問・未来の福島こども基金代表 黒部
 信一さん(小児科医)、5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会・越谷代表 加藤万季さん
 (脱原発1000万人アクション新座・志木連絡会)
 26日 東の森壺番街、館第3・第4公園放射線量測定(保護者有志)
 29日 朝霞地区一部事務組合議会
 30日 小学校保護者・環境推進課話し合い…校庭の除染等について
 10月1日 がん講演会「6回のがん手術を乗り越えた、投げ出さない人生とは」日本対がん協会常務理事
 関原健夫さん
 2日 がん患者サロンたんぼぼの会記念講演「がん医療における心の問題とその対応」埼玉医科大学
 病院国際医療センター精神腫瘍科教授 大西秀樹さん(埼玉県のがんを考える会)
 4日 朝霞地区議長会議員研修会「放射線被ばくから身を守るには」独立行政法人理化学研究所安
 全管理部長 宮川眞言さん
 第12回屋内消火栓操法技術大会(朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部)
 5日 本町3丁目道路立会(道路公園課)
 志木二小 磯校長と懇談
 7日 小学校保護者・環境推進課話し合い…校庭の除染について
 小学校保護者・学校教育課話し合い…学校給食について
 8日 集合住宅建築計画についての近隣住民説明会
 『辻銀杏で街あわせ』音楽会(ぺあもーる商店街にて)
 9日 市民体育祭
 10日 幸町4丁目立ち会い
 11日 志木四小 三好校長と懇談
 高齢者保健福祉計画審議会・介護保険事業計画策定委員会傍聴
 12日 宗岡小 岩澤校長と懇談
 15日 第9回いろはふれあい祭り
 16日 健康まつり
 17日 志木小5年生 柳瀬川での環境学習(NPO法人エコシティ志木)
 18日 民生委員推薦会
 19日 志木市商工会サービス業部会「第7回イブニングセミナー」~ホスピタリティでお店や会社が変わ
 ります~医療法人財団献心会川越胃腸病院総務部長兼医療サービス対応事務局小川卓さん



- 22日 市政功労者表彰式典
- 23日 環境デー クリーン作戦 新河岸川・こもれびのこみちゴミ拾い(NPO法人エコシティ志木)
コスモスまつり
- 25日 朝霞地区一部事務組合決算調査、し尿処理場・すわ緑風園視察
- 29日 開館20周年記念柳瀬川図書館まつり「本・ほん・ほんわかまつり」オープニングセレモニー
- 30日 柳瀬川図書館まつり 弦楽合奏と室内楽(ストリングス志木)
- 11月1日 放射能情報交換埼玉県志木 オフ会
- 2日 朝霞地区一部事務組合決算特別委員会
- 10日 志木市立市民病院運営審議会傍聴…来年度の診療体制について、国保直診について
- 11日 志政フォーラム第4回意見交換会
- 12日 すずらんまつり(障害福祉サービス事業所 生活介護すずらん)
- 13日 家族ふれあい講演会「絵本があつてよかったな！」絵詞作家 内田麟太郎さん(志木地区里親会)
糖尿病デー講演会「糖尿病をめぐって、人生を語る」医事評論家 行天良雄さん
- 15日 高齢者保健福祉計画審議会・介護保険事業計画策定委員会傍聴
介護支援専門員連絡会「地域包括ケアシステムの構築と今後の介護保険制度の方向」和光市長寿あんしん課長 東内京一さん
- 16日 朝霞地区4市消防団連合点検
- 19日 「志木あらちゃん」特別住民登録記念・東日本大震災復興支援第2回産直市(志木市商工会)
- 20日 これからの「食糧・農業・経済」基調講演 放射能汚染による食品の現状と安全 食政策センター
ビジョン21代表 安田節子さん(和光出版・メディアの会)
- 22日 朝霞地区一部事務組合議会
- 25日 子ども達を被ばくから守るための要望書提出、環境推進課・教育委員会学校教育課との話し合い(5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会志木)
- 27日 要保護児童対策関係職員合同研修会「～児童虐待ゼロに向けて～どこから虐待?どう対応する?」常磐大学准教授・越谷心理支援センター所長 秋山邦久さん
- 28日 いきいきサロン講習会 老人性難聴・伝音難聴感音難聴 志木市社会福祉協議会 長谷川裕司さん
- 29日～12月20日 議会定例会
- 12月3日 介護予防セミナー「自分で実践! 転倒予防と足部のケア」東京医療保健大学准教授 山下和彦さん
- 4日 東日本大震災復興支援 志木市民まつり
- 5～6日 志木市社会福祉協議会学童保育統括指導員 野口恵子さんより宗岡地区学童保育について伺う
- 8日 社会福祉法人タイケン福祉学童保育統括指導員 狩野樹子さんより志木地区学童保育について伺う
- 10日 地域DE子ども見守り隊「第6回ふれあいコンサート」
『放射能から子どもたちを守ろう』内部被ばくを考える市民研究会代表 川根真也さん
- 12日 柳瀬川浚渫工事現場打ち合わせ(朝霞県土整備事務所)
アフターファイブ定例会(21しき市民会議5期)…市民病院について意見交換会
- 16日 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議会傍聴
- 18日 ハートフルマーケット、ハートフルコンサート(志木市社会福祉協議会)
木下黄太さん講演会(5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会志木)
- 21日 コンクリヤ 細田和子さんより小規模デイサービスについて伺う
- 24日 特別支援学校生・卒業生 ミュージカル劇団A・UN(あ・うん)第二回発表会
大きなモミの木の下で



わたしたちの手で つくろう 志木！！

＊ ＊ 天田いづみの将来あんしんビジョン ＊ ＊

【みんなで安心して暮らせる地域をつくっていきます】

- 地域主権を担える行政・議会へ
- 市庁舎・公共施設・上下水道の耐震化、省エネ省コストで防災機能アップ
- 庁舎が被災しても、いろは遊学館で災害対策本部が機能するように整備
- 地域の実態に応じた防災対策・備蓄をすすめ、自主防災組織の活動を支援
- 要援護者台帳を見直し、地域での助け合いに活かせるように

【市民病院の改革は将来を見据えて取り組みます】

- 市民の財政負担は最小限に、経営改革は公開性・透明性ある手続きで
- 小児救急・夜間小児救急体制は近隣自治体との連携で
- 高齢者の在宅療養には訪問看護ステーション(365日24時間)・訪問診療を

【高齢になってもげんきで生きられるまちをめざします】

- 地域毎の高齢者の実態に応じたサービスを整備
- ウォーキング、体力づくりができるような公園、道路に
- 歩いていかれる身近な場所で地域のサロン活動
- 仲間と楽しく取り組める認知症予防プログラム
- 料理をつくりたい、駅まで歩けるようになど、一人ひとりに応じた生活の目標が達成できるように支援する介護サービス
- 公共交通網(バス路線等)をさらに充実し外出を応援
- 介護者・家族が安心できる相談体制の充実
- 介護者を支え、悩みを話せる場づくり



【一貫性のある教育・子育てをみんなで見守り支えます】

- 発達障がい児への保育園・幼稚園でのサポート体制
- 子ども一人に対し、幼稚園・保育園・小学校・中学校が連携し、一貫した教育・子育て支援
- 教職員・保育士への研修体制を充実
- 経済的・心理的など厳しい状況の子育て家庭には、スクールソーシャルワーカー等が訪問し支援
- 放射能から子どもたちを守る取り組みは、保護者・学校・行政の協力で



【だれもが生きる喜びを実感できる社会をつくっていきます】

- 障がい者・生活保護世帯等への就労支援を充実し、積極的な職場開拓と定着支援
- 障がいがあっても地域の中でいきいきと活動できる事業所を増設
- うつ・自殺予防への取り組みは地域社会全体で

天田いづみさんを応援しています

青木 伸夫	岩本 耕児	掃部 泰子	榊原 厚子	東條 厚彦	富士 英彦	村上 嘉陽
秋本 義子	上野 直美	川口 芳枝	佐藤 京子	遠山 練治	藤田 克子	村野 輝子
秋山 京子	内海 辰己恵	河田 節子	佐野 仁子	徳満 和子	古谷 俊明	村山 洋史
阿久津由貴江	宇津木美恵子	神戸 育代	佐山 恵子	利岡 聡子	別府 晴子	村山 律子
朝川 敏子	梅川 ひろみ	神戸 久人	汐見 克彦	戸田 守彦	細野 悦子	毛利 将範
阿部 和子	江副 はるみ	木村 豊茂	汐見 典子	中崎 栄子	前川 ミヤエ	森口 朋子
荒木 代志子	大関 スマ	木村 優子	篠田 峯子	中島 陽子	増田 真樹	矢部 俊子
有馬 隆江	大橋 芳男	木村 薫里	白崎 裕希子	中島 冷子	松尾 幾代	山内 敦子
有元 利恵子	岡田 綾	熊谷 ミエ子	菅澤 礼子	中村 江美	松田 伊子	山内 真
安斎 昇恵	小口 照子	栗田 文子	杉山 洋子	中山 佐智子	松田 信博	山際 幸子
飯島 英子	影山 一敏	栗原 裕子	須崎 和代	名児耶 一子	松本 照道	山崎 光久
飯塚 伸夫	風見 のり子	黒崎 浩子	鈴木 あい子	西川 朋子	三浦 純子	山田 和子
五十嵐 妙子	粕谷 節子	桑山 雅子	鈴木 和好	萩元 順子	三浦 淑江	大和 憲子
池田 弘子	片岡 文子	間持 寿	鈴木 孝裕	長谷川 久江	三浦 真奈子	横山 喬
石川 和子	勝部 千重子	小塚 美朝子	鈴木 多美子	羽山 恵子	三浦 永光	吉田 めぐみ
石川 智恵子	加藤 克利	小島 静枝	鈴木 三枝子	引野 明	三角 和夫	吉村 公秀
石田 幸平	加藤 賢二	小島 千幸	高橋 得治	引野 直子	三谷 清子	吉村 ゆき子
磯 志	金川 邦久	込山 光廣	高畑 瑠子	引野 靖	満園 節子	
井田 紀子	金川 世季子	込山 三和子	田口 アサ子	久永 幸利	光武 弥生	
伊藤 道代	金山 豪成	小森 寿子	竹中 啓子	平澤 佳奈	宮沢 正安	
今井 耕二	金子 シゲ	齊藤 英朗	田島 恭子	廣田 千春	宮沢 洋子	
今井 三代子	鎌苅 恵美子	齊藤 陽子	田中 文吉	福田 飛鳥	宮下 光江	
今尾 朋加	加茂 牧子	坂井 サト子	寺沢 しづ子	富士 くみ子	宮藤 政江	

天田いづみのプロフィール



- ◆自由学園最高学部卒業
自由学園幼児生活団勤務
- ◆団地・学校・公園・公共施設等で農薬を使わない活動
- ◆農薬空中散布中止・低農薬有機肥料の米づくりを支援
- ◆県「さいたま地球環境賞」受賞
- ◆志木市廃棄物減量化資源化等推進審議会委員
- ◆21しき市民会議委員 第5期
- ◆第三次志木市総合振興計画審議会副会長
- ◆県「彩の国地方分権大学」に志木市から参加

- ◆エコシティ志木「市民がつくる志木市の環境プラン」づくりに参加
- ◆志木市環境基本計画(第1期)策定の環境市民会議委員
- ◆市議会議員 4期
総務常任委員会委員長
志木地区衛生組合議員
政治倫理条例制定特別委員会委員
- ◆現在
市民福祉常任委員会委員長
朝霞地区一部事務組合議員



■ 行政計画を議決事項に

天田いづみは第三次志木市総合振興計画(1996年～2005年)策定に志木市初の公募の市民として関わり、その中で貴重な斜面林の保全、資源循環型まちづくり等を提案、1996年より市議会議員としてその実現に懸けてきました。

市内に2か所しかない希少な斜面林を保全(西原斜面林は土地区画整理事業の計画変更により西原ふれあい第三公園として2009年に保全、こもれびのこみち斜面林は地権者から市に2008年に寄附いただく)できたのも、市民と行政が共につくった志木市総合振興計画基本構想を市議会が議決し、市民・議会・行政で共有されたまちづくりの指針に基づき取り組んできた成果です。

昨年、地方分権改革推進計画に基づき地方自治法が改正され、市町村基本構想の策定義務が撤廃されました。現在志木市では、第四次総合振興計画(2006年～2015年)に基づき行政が運営されていますが、次期はどうするのか、今から検討が必要です。

さらに、議会の関与について、天田いづみは当初から、基本構想だけではなく基本計画をはじめ、都市計画マスタープラン・環境基本計画等の各種行政計画を議決事項にすべきと考え、議会改革の論議の中で提言してきましたが、いまだに実現していません。

志木市では、計画を策定する際には市民や事業者が関わり熱心に取り組まれています。進行管理が手つかずの計画も少なくありません。

行政の責任は当然ですが、条例制定により議決事項とすることにより、議会という機関としても、市民や事業者とコミュニケーションを図りつつ評価を行うなど、進行管理に関与し、まちづくりに対する機能を果たしていられるよう取り組んでいきます。

**** これまでの活動とその成果は！！ ****
天田いづみのホームページでご覧下さい

■ 原発に依らない社会へ

12月議会では、「原子力発電の段階的縮小とエネルギー政策の転換を求める意見書」を全会一致で可決し、国に提出されました。

3.11以降、子どもたちへの放射能の影響を心配する保護者の方々と情報交換をしながら、市や教育委員会との話し合いを重ねてきました。

こうした中で、校庭・保育園・公園・公共施設等の測定と除染、学校給食用測定機器の購入(予備費で対応)、小中学校・保育園(民間認可保育園を含む)給食食材の放射性物質測定と進展してきました。今後も地道に取り組みを重ねていきます。

■ 柳瀬川での防災対策は

柳瀬川の栄橋(市役所脇)では埼玉県が、志木大橋では志木市が、東上線橋梁では東武鉄道がそれぞれ耐震化工事を実施しています。

今後志木市は2012年度に高橋(たかばし)、2013年度には富士見橋の耐震補強・補修工事を行う予定です。

また、柳瀬川では埼玉県が2年前から、上流から流れてくる土砂を浚渫し、河川の水位を下げる工事を行っています。

今回の工事範囲には、志木中学校付近の富士見市側に、市内小学校の環境学習で魚捕りなどの川の学習をしている場所があります。工事後に自然が回復し、学習ができるように、市民の意見も取り入れ、工事が行われています。



柳瀬川での浚渫工事(2012. 2. 21)